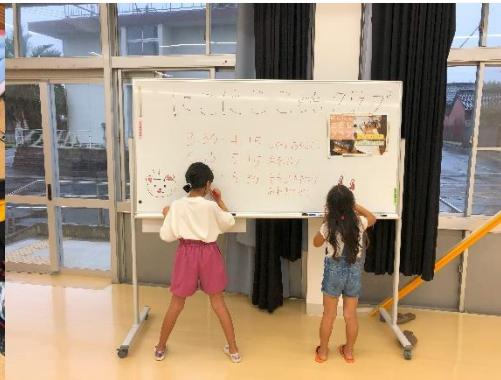


こども サポート プロジェクト



こどもサポートプロジェクト

■めざすもの:

言語的・文化的に多様な(=すべての)子どもたちが、
受け入れられると実感でき、
安心して過ごすことができる居場所(=社会)をつくる。

■活動:

●言語的・文化的に多様な子どもの居場所づくり

(にこにこ子どもクラブ&わくわく子どもクラブ)

●言語的・文化的に多様な子どものサポート人材の研修

●母語・母文化の習得・保持のための教室

(ポルトガル語母語教室)

活動へのご参加、ボランティアスタッフを募集しています。

下記↓の連絡先まで、お気軽にご連絡ください！

■連絡先:

E-Mail:tabkyo-p@sky.plala.or.jp

TEL:090-3714-1892(代表・堀西)



こどもサポートプロジェクト活動実績(2023年度概要)

●言語的・文化的に多様な子どもの居場所づくり (「にこにこどもクラブ」「わくわくこどもクラブ」の開催)

(1)活動がめざすもの:

外国にルーツをもつ子どもはじめとする、言語的・文化的に多様な子どもたちが、安心していっしょに過ごせる居場所をつくる。

(2)活動の対象:

小学生、中学生、未就学児(原則として保護者同伴)

※ルーツのある国・地域、言語、文化などにかかわらず、すべての子どもが対象

(3)活動の内容:

学習(学校の宿題等)のサポート + 遊び(スポーツ、ゲーム、創作活動など)

※ボランティアスタッフ(中学生、高校生、大学生、一般)による運営・サポート

(4)開催日時・場所:

① 「にこにこどもクラブ」

・開催回数:12回(1学期:3回、夏休み:2回、2学期:4回、3学期:3回) ※1回中止

・開催時間:15:30~17:30または10:00~12:00

・開催場所:直江コミュニティセンター

・参加者数:のべ90人

※2022年度~2023年度にかけての春休みの活動として2023年4月に1回開催

② 「わくわくこどもクラブ」

・開催回数:13回(1学期:3回、夏休み:2回、2学期:5回、3学期:3回、春休み1回)

・開催時間:15:30~17:30または10:00~12:00

・開催場所:塩冶コミュニティセンター、塩冶小学校

・参加者数:のべ169人

※2022年度~2023年度にかけての春休みの活動として2023年4月に1回開催

③ 「わくわくこどもクラブ・よつがねサテライト」

・開催回数:13回(1学期:3回、夏休み:2回、2学期:5回、3学期:3回)

・開催時間:15:30~17:30または10:00~12:00

・開催場所:四絡コミュニティセンター、四絡小学校、今市コミュニティセンター

・参加者数:のべ62人

※2022年度~2023年度にかけての春休みの活動として2023年4月に1回開催

(5)その他の活動(サポート人材の研修、他)

・7月1日:交流会・研修会開催(同志社大学教員・学生参加、研修会テーマ:母語教育について、講師:横田アギネスさん)

・8月19日:講演会参加(出雲市同和教育講演会「熱と光をたぐり寄せる~「私」がつくる「私たち」の多様性社会へ」、講師:三木幸美さん)

・8月20日:研修会開催(テーマ:活動のふり返り・課題・展望等、スタッフミーティング)

・9月16日:交流会開催(鳥取大学教員・学生参加)

・2月25日:子どものサポートに関するイベント出展(活動紹介)

・3月2日:「いざも多文化ひろば」との共催(ホンジュラスの子どもとの交流)

・3月10日:研修会開催(テーマ:ブラジル・移民・言語・文化・母語・アイデンティティ等、講師:カナグシク・チアゴさん)

・6月~12月:塩冶地区社会福祉協議会の活動に参加(さつまいもの収穫など)

■にこにこどもクラブ
(直江コミュニティセンター)



●わくわくこどもクラブ
(塩治コミュニティセンター、
塩治小学校)



●わくわくこどもクラブ・
よつがねサテライト
(四絡コミュニティセンター、
四絡小学校、今市コミュ
ニティセンター)



こどもサポートプロジェクト活動実績(2023年度概要)

●母語保持・習得の機会づくり (「ポルトガル語母語教室」の開催)

(1)活動がめざすもの:

本人または親がポルトガル語を母語とする小学生・中学生を対象に、母語の保持・習得の機会を提供し、子どもたちのアイデンティティの形成、複言語・複文化の環境において安心して成長していく一助とする。

(2)活動の対象:

本人または親がポルトガル語を母語とする小学生・中学生

(3)活動の内容:

- ・アルファベット、読み書きの学習
- ・ゲーム、創作活動、絵本などを通じた言語・文化の保持・習得
- ・季節のイベント(クリスマス会)

(4)開催日時・場所:

- ・開催回数: 塩冶クラス: 18回(×2クラス) 斐川クラス: 10回
- ・開催時間: 塩冶: 初期クラス 15:30~16:30、初級クラス 16:40~17:40(各 60分)
斐川: 15:30~17:00(90分)
- ・開催場所: いづも子育て支援センター(塩冶)、直江コミュニティセンター(斐川)
- ・参加者数: 塩冶: のべ 172人(2クラス合計) 斐川: のべ 57人

(5)運営体制:

- ・講師(授業、教材作成、活動企画等): 1名
- ・ボランティアスタッフ(高校生、一般): 3名

(6)その他の活動(イベント参加、職業体験)

- ・11月26日: 「いづも多文化ひろば」(多文化交流・体験イベント) 参加
→ステージ発表(子どもと保護者・スタッフによるダンス)
- ・3月28日: スターバックス出雲大社店訪問
→子ども向け体験プログラム参加(ブラジル出身店員によるレクチャー等)

■ 塩冶クラス(いとも子育て支援センター)



■ 斐川クラス(直江コミュニティセンター)



■ その他の活動(「いとも多文化ひろば」参加)



■ その他の活動(スターバックス出雲大社店訪問)





SIC 児童録
えすあいしー
けん ぶん ろく

県内の国際交流・国際協力等の取組みを紹介する「SIC見聞録」。今回は、こどもサポートプロジェクト(令和4年度「世界とつながる島根づくり助成金」交付事業)をご紹介します。

こどもサポートプロジェクト

「ここが好き」「次はいつ?」「友だちを連れてきてもいい?」

ここは、こどもサポートプロジェクトが実施する「言語的・文化的に多様な子どもたちの居場所」です。出雲市内でも特に「多文化な」地域である、塩冶地区、直江地区の2か所で、月にそれぞれ1~2回開いています。(※)

目指しているのは、生まれた国や育った場所、話す言葉にかかわらず、「誰でも安心して過ごせる場」。主に小学生が参加するこの居場所では、宿題をしたり、鬼ごっこをしたり、自分の好きな絵を描いたりして、思い思いに過ごします。日本語を主に話す子もいれば、複数の言語や文化の中で育つ子もいます。

スタッフは大学生を中心に、高校生、地元のボランティアさん、この居場所を卒業した中学生など、こちらも多様です。ときにはオンラインで、京都の大学の先生や学生さんが参加してくださいます。

「イレギュラーな存在」はどこにもいません。誰でも「受け入れられている安心」の中で成長できること、ありのままの自分でいられること、将来を自由に描けること…それが当たり前の社会になってほしいと思います。「日本語ができない子」「〇〇語が話せない子」「課題がある子」なんかではなく、自分の言葉で豊かな表現ができたり、なわとびが大好きだったり、K-POPに夢中だったりする「一人の子ども」として大切にされる、そういう社会に近づけていきたいと思います。

課題があるのはそうなっていない社会の側一ここはそのことを、子どもの姿から大人が教わる場でもあるのです。



みんなで思い切り身体を動かして遊びます

ほりにし まさあき
堀西 雅亮



スタッフといっしょに、ゲームをしたり勉強をしたりします



オンライン参加のスタッフとジャンケンゲーム